SmaPri Driver 開発者マニュアル
本体設定（Windows）

株式会社サトー

Rev.20240126

目次

目次.....1

ご注意.....3

第４章 本体設定（Windows）.....4

4-1.インストール・アンインストール.....5

- SmaPri Driver の構成.....5
- 新規インストールする.....6
- 上書きインストールする.....6
- アンインストールする.....6

4-2.[管理画面]ステータス.....7

- 起動方法.....7
- 機能説明.....7

4-3.[管理画面]プリンタ設定.....9

- 起動方法.....9
- 機能説明（設定変更の反映）.....9
- 機能説明（プリンタ機種設定）.....10
- 機能説明（Bluetooth 設定）.....10
- 機能説明（LAN 設定）.....11
- 機能説明（USB 設定）.....11
- 機能説明（プリンタドライバー設定）.....11
- 機能説明（通信設定）.....12
- Bluetooth プリンタのペアリング方法.....13
- Bluetooth プリンタのペアリング解除.....14

4-4.[管理画面]サーバー設定.....15

- 起動方法.....15
- 機能説明.....15

4-5.[管理画面]機能制限.....18

- 起動方法.....18
- 機能説明.....18

4-6.[管理画面]スプーラー表示.....19

- 起動方法.....19
- 機能説明.....19

4-7.[管理画面]ログ表示.....22

- 起動方法 22
- 機能説明 22
4-8.設定ファイルのインポート 23
- 設定ファイルの形式 23
- 設定パラメータ 24
- 設定ファイル記述例 26
4-9.HTTPS 通信の利用 27
4-10.Web アプリの SSL 化について 28

ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、株式会社サトーにあります。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

- SATO、SmaPri は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

第４章

本体設定

（Windows）

4-1 インストール・アンインストール

-SmaPri Driver の構成　-新規インストール　-上書きインストール　-アンインストール

SmaPri Driver は、インストーラーファイル（*.msi）からインストールしてください。

インストーラーファイルの格納先

- SmaPri テクニカルサポートサイトにログインして「SmaPri Driver (Windows)」の msi ファイルをダウンロードします。

インストール前の準備

- インストーラーは管理者権限で実行してください。OS が 32bit 版の場合は x86 のインストーラー、OS が 64bit 版の場合は x64 のインストーラーを実行します。
- SmaPri Driver はサーバーポート番号 8080 が初期値のため、他のアプリケーションでポート番号 8080 が使用されているとインストールに失敗します。該当のアプリケーションを一時的に停止するか「サイレントインストール」で別のポート番号を指定してインストールください。

インストール時に任意の設定値を指定

- インストール時に設定ファイルを配布することで任意の設定値で SmaPri Driver をセットアップできます。詳細は設定ファイルのインポートを参照ください。

- SmaPri Driver の構成

Windows 版 SmaPri Driver は下記の構成です。

1.SmaPri Driver

- 印刷リクエストの受付やプリンタとの通信を行う。
- Windows サービスとして動作する（Local System アカウント）。

2.SmaPri Driver 設定ツール

- 「SmaPri Driver」の設定を確認・変更する。
- 全ての設定を行うには管理者権限が必要。

- 新規インストールする

Windows 端末では下記のインストール方法を実施いただけます。

・通常のインストール

1) SmaPri Driver インストーラー（*.msi）を管理者権限で起動します。
2) スタートメニューの全てのプログラムに「SATO」->「SmaPri Driver 設定ツール」が追加されます。また、Windows サービス（ローカル）に「SmaPri Driver」が追加されます。

・サーバーポート番号を指定してインストール

- 「SERVER_PORT」パラメータを指定することで SmaPri Driver のサーバーポート番号を変更してインストールできます。（初期値 8080、設定範囲 1～65535）

  例： `msiexec /i "D:¥smapri_driver_1.1.0.0_x86_ja.msi" SERVER_PORT=8083`

※サーバーポート番号の初期値は「8080」です。他の Web サーバーが 8080 ポートを使用している場合、インストールに失敗します（エラーメッセージ「サービス'SmaPri Driver'を開始できませんでした。システムサービスを開始する特権を持っていることを確認してください。」が表示されます）。上記の「SERVER_PORT」を指定してインストールするか、8080 ポートを使用しているサーバーを一時的に停止してインストールしたあと、SmaPri Driver 設定ツールでサーバーポート番号を変更してください。

- 上書きインストールする

端末に SmaPri Driver がインストールされている状態で、インストールを実行すると、上書きインストールになります。上書きインストールでは以前の設定値が引継がれ、SmaPri Driver が起動中の場合は上書きインストール後に自動的にサービスが再起動されます。

- アンインストールする

アンインストールするとアプリケーションの設定値や登録データが削除されますのでご注意ください。

1) 「コントロールパネル」->「プログラムと機能」を選択します。
2) プログラムの一覧から「SmaPri Driver」を選択して、アンインストールボタンを押すと SmaPri Driver がアンインストールされます。

4-2 [管理画面]ステータス

サーバーの起動・停止やプリンタとの接続・切断を切替えます。

- 起動方法

・全てのプログラムから「SATO」->「SmaPri Driver 設定ツール」を選択します。

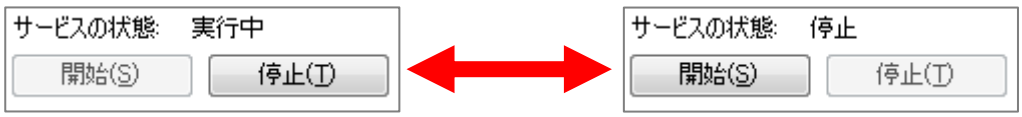
※設定を変更するには管理者権限で起動する必要があります。

- 機能説明



1) サーバーのステータス/制御

SmaPri Driver の起動と停止を設定します。



2) サーバーURL

クライアントからのリクエストを受信する URL を表示します。

変更する場合は、「[管理画面]サーバー設定」をご参照ください。

3) 選択中プリンタ名

接続先として指定しているプリンタを表示します。

Bluetooth の場合 …… Bluetooth のデバイス名と BD アドレス

TCP/IP の場合 …… IP アドレスと TCP ポート番号

USB の場合…… USB シリアル ID

プリンタドライバーの場合…… プリンタ名

Bluetooth・USB の場合は、リストから選択することでデバイスの一覧を表示します。

Bluetooth の場合は「デバイスのスキャン」を選択して、プリンタとのペアリングができます。詳細は「Bluetooth のペアリング方法」をご参照ください。

4) プリンタ設定

プリンタとの通信設定を行います。詳細は「[管理画面]プリンタ設定」をご参照ください。

5) テスト印刷

選択したプリンタでテスト印刷を行います。プリンタとの通信テストにご利用ください。

テスト印刷のデータを送る前にプリンタに直接接続して状態確認するため、プリンタの電源が OFF の場合などはエラー表示されます。

テスト印刷が失敗する場合、まずは「プリンタ機種」設定をご確認ください。

・PT208e シリーズ、PT408e/412e では「ステータス 3 (PT208e/m/j, PT408e/PT412e)」

・PW208/PW208NX シリーズでは「ステータス 4」または「ステータス 3」

・上記以外の機種では「ステータス 4」または「ステータス 3」

6) スプーラー

スプーラーの状態を表示します。

7) 印刷ジョブの表示

スプーラーの印刷ジョブの状態を表示・確認できます。

詳細は「[管理画面]スプーラー表示」をご参照ください。

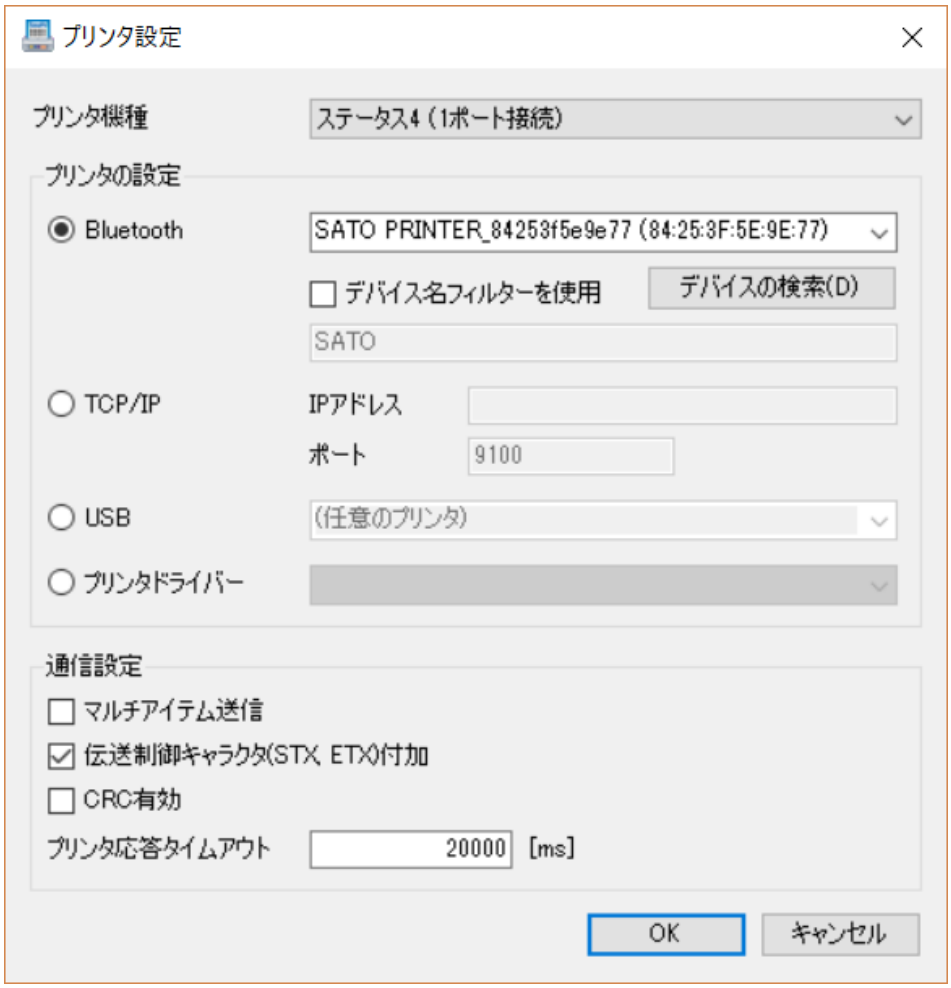
4-3 [管理画面]プリンタ設定

プリンタ機種や Bluetooth、LAN などプリンタに関する設定を行います。

- 起動方法

・メイン画面から「プリンタ設定」を選択します。

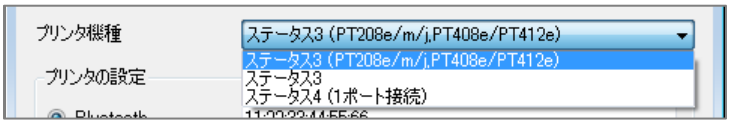




- 機能説明（設定変更の反映）

設定変更した内容は「OK」で「プリンタ設定」の画面を閉じた後、メイン画面で「適用」または「OK」を押すことで反映されます。

- 機能説明（プリンタ機種設定）



1) プリンタ機種

接続するプリンタ機種を設定します。プリンタ側の通信プロトコル設定に合わせて指定します。

初期値は「ステータス４ (1 ポート接続)」です（Ver.1.2.0.0 以降）。

- 機能説明（Bluetooth 設定）



1) Bluetooth 接続を使用

Bluetooth でプリンタと接続します。

2) Bluetooth デバイス

ペアリング済みのプリンタのデバイス名と BD アドレスが表示されます。接続するプリンタを選択してください。BD アドレスの直接入力が可能です。「デバイスの検索」を選択して、ペアリングを行うこともできます。

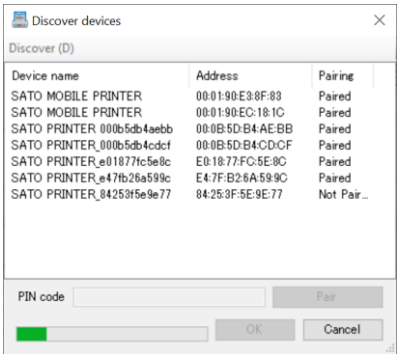
詳細は「Bluetooth のペアリング方法」をご参照ください。

3) デバイス名フィルターを使用

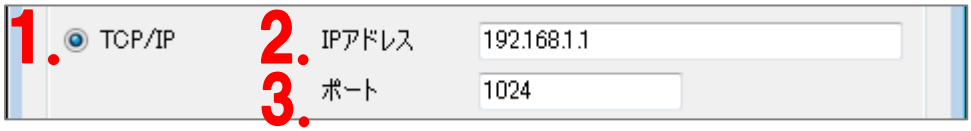
「Bluetooth デバイス」の一覧と「デバイスの検索」の検索結果に、任意の文字を含むデバイス名のみ表示させます。初期値は「無効（オフ）」です。有効にした場合の初期値は「SATO」です。

4) デバイスの検索

周辺の Bluetooth 機器を検索します。Windows 端末に使用可能な Bluetooth デバイスが接続されていない場合はエラーとなり、下記の検索画面は表示されません。



- 機能説明（LAN 設定）



1) LAN 接続を使用

LAN（TCP/IP）でプリンタと接続します。

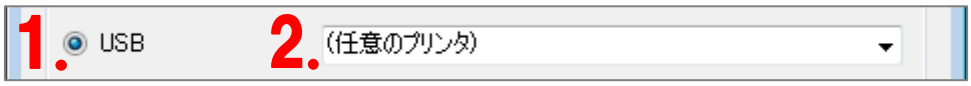
2) IP アドレス

プリンタの IP アドレスを指定します。

3) TCP ポート

TCP ポート番号を設定します。初期値は「9100」です（Ver.1.2.0.0 以降）。

- 機能説明（USB 設定）



1) USB 接続を使用

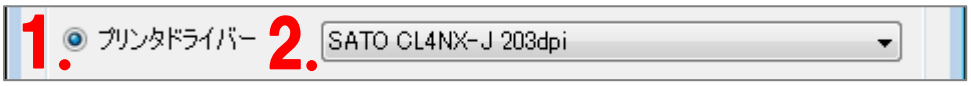
USB でプリンタと接続します。

2) USB シリアル ID

プリンタの USB シリアル ID を指定します。初期値は「(任意のプリンタ)」です。

「(任意のプリンタ)」では最初に見つかったサトー製プリンタに自動的に接続します。使用するプリンタが 1 台の場合は「(任意のプリンタ)」のままで構いません。プリンタが 2 台以上接続されている場合は USB シリアル ID を選択してください。リストには PC に接続されているサトー製プリンタの USB シリアル ID が表示されます。

- 機能説明（プリンタドライバー設定）



1) プリンタドライバー接続を使用

プリンタドライバーでプリンタと接続します。

プリンタドライバー指定時はプリンタドライバーがプリンタと通信を行うため、プリンタステータス取得などのリクエストが利用できません。スプーラー機能も無効となります。

2) プリンタ名

プリンタドライバーを選択します。

- 機能説明（通信設定）



1) マルチアイテム送信

プリンタへの印字データ送信条件を設定します。初期値は「無効」です。

有効：プリンタの印刷完了を待たずに次の印字データを送信します。

無効：プリンタの印刷完了を待ってから次の印字データを送信します。

2) 伝送制御キャラクタ付加

プリンタに印刷コマンド送信時に伝送制御キャラクタ(STX, ETX)を自動的に付加するかどうかを指定します。初期値は「有効」です。通常は有効に設定し、変更する必要ありません。「CRC 有効」設定が有効な場合はこの設定も常に有効になります。

3) CRC 有効

初期値は「無効」です。通常は変更する必要はありません。プリンタ本体の CRC チェックが有効のときにのみオンにしてください（プリンタも初期値は無効です）。プリンタと設定が合っていない場合、ラベルが不定期に印字されないなど障害の原因になります。

4) プリンタ応答タイムアウト

プリンタとの接続やデータを送受信する際のタイムアウト値を設定します。

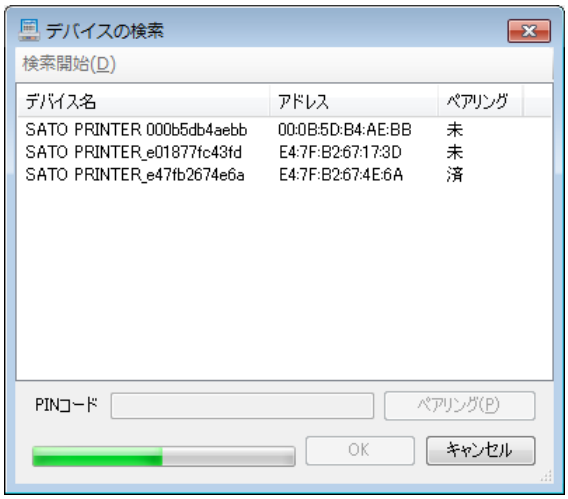
初期値は「20000 ミリ秒（20 秒）」です。

- Bluetooth プリンタのペアリング方法

1) Bluetooth デバイスの項目から「デバイスの検索」を選択します。

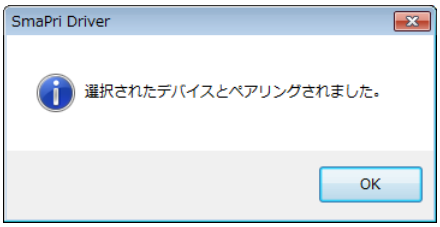


2) 自動で Bluetooth デバイスの検索が開始されます。
ペアリング対象のプリンタが一覧にない場合は、「検索開始」を押して再検索してください。

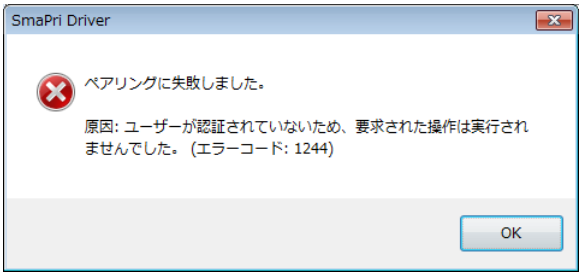


3) ペアリングするプリンタを選択し、PIN コードを入力して、「ペアリング」をクリックします。PIN コードはプリンタの設定値を指定します。

※PIN コードの初期値は機種により異なります。プリンタのマニュアルをご確認ください。PW208 はゼロ 4 桁（0000）、PT208e・PT408e/PT412e はゼロ 16 桁（0000000000000000）です。エラー表示された場合、PIN コードの入力が間違っている可能性があります。



ペアリング成功時

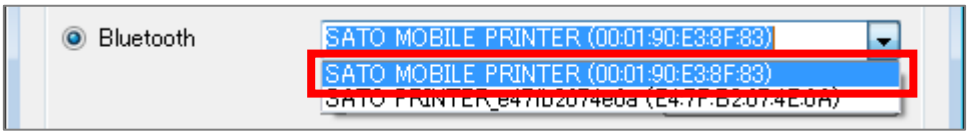


ペアリング失敗時

※プリンタの Bluetooth 認証レベルが「レベル 4」の場合、ペアリング手順が異なります。

・PIN コードは入力せずに「ペアリング」をクリック
・PC の画面右下に表示される通知（デバイスの追加）をクリック
・[デバイスをペアリングしますか？] のダイアログに表示される 6 桁の数字（ランダム）とプリンタに表示される 6 桁の数字が一致していることを確認し、[はい] をクリック
・プリンタ側は本体ボタンやタッチパネル等を操作してペアリングを許可

4) ペアリングが成功するとメイン画面でプリンタが選択可能になります。

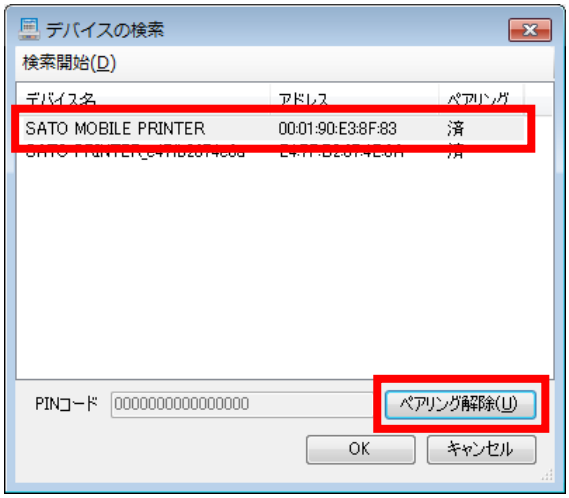


- Bluetooth プリンタのペアリング解除

1) Bluetooth デバイスの項目から「デバイスの検索」を選択します。



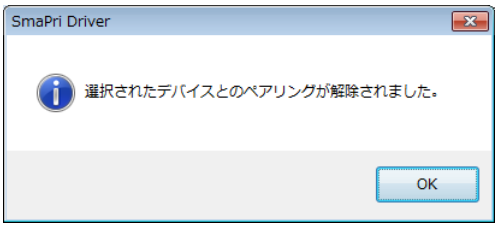
2) ペアリング「済」となっているプリンタを選択して「ペアリング解除」をクリックします。



3) ペアリング解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択するとペアリング解除されます。



ペアリング解除の確認画面



ペアリング解除の通知

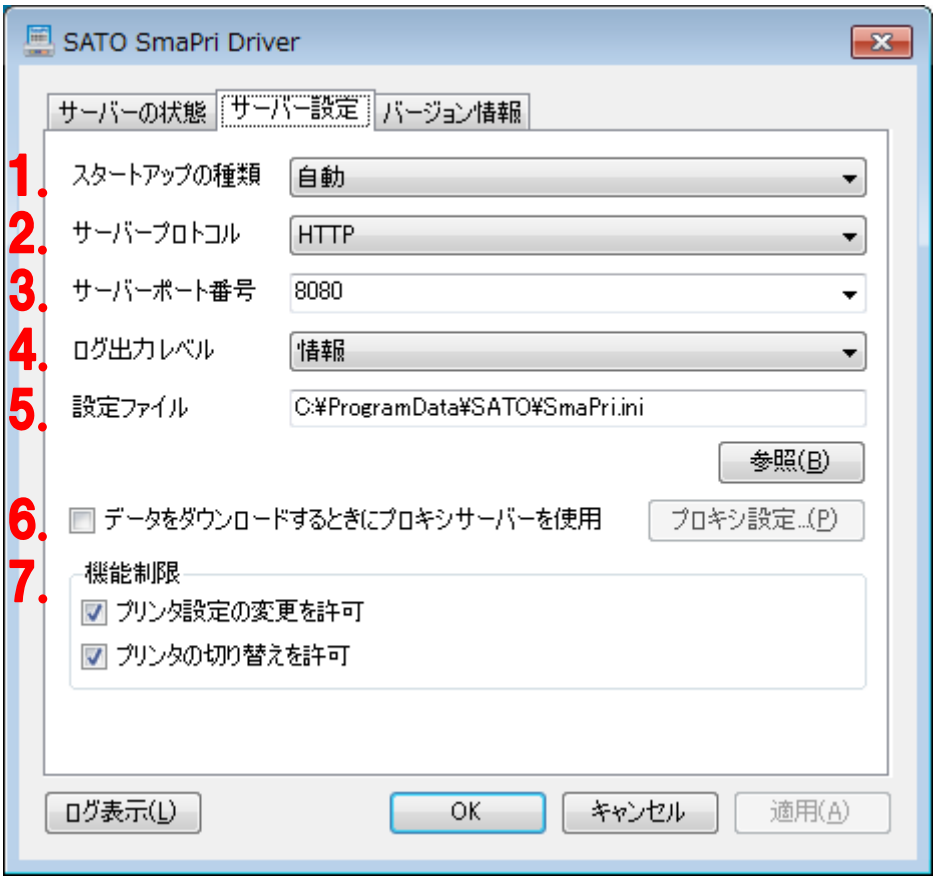
4-4 [管理画面]サーバー設定

サーバーのポート番号やログ出力内容などサーバー機能の設定を行います。

- 起動方法

・「サーバー設定」タブを選択します。

※設定を変更するには管理者権限で起動する必要があります。



- 機能説明

設定変更した内容は「適用」または「OK」を押すことで反映されます。

1) スタートアップの種類

初期値は「自動」です。端末の起動時に SmaPri Driver を自動的に開始します。

2) サーバープロトコル

HTTP サーバーのプロトコル（HTTP/HTTPS）を設定します。初期値は「HTTP」です。通常は変更する必要はありません。詳細は「HTTPS 通信の利用」をご参照ください。

3) サーバーポート番号

クライアントからの HTTP リクエストを受信するポート番号を設定します。初期値は「8080」です。

4) ログ出力レベル

動作ログの出力レベルを設定します。初期値は「情報」で、すべてのログが出力されます（Ver.1.2.0.0 以降）。ログ内容の確認方法は「[管理画面]ログ表示」をご参照ください。

「情報」では、HTTP 通信の要求内容がログに出力されるため、Basic 認証のユーザー名やパスワード、GET リクエストの印字データがそのまま表示されます。セキュリティが求められる場合は、ログ出力レベルを「情報」以外に設定し、サーバー設定「機能制限」でサーバー設定の変更を制限してください。

出力内容	ログ出力レベル			
	OFF	エラー	警告	情報
SmaPri Driver の起動・停止 HTTP 通信エラー プリンタとの通信エラー その他の重大なエラー	×	○	○	○
HTTP 要求、パラメータに対するエラー（エラー内容） 管理画面で設定変更時のエラー	×	×	○	○
HTTP 通信接続・切断 HTTP 通信による要求の内容、および、その結果 管理画面の設定変更	×	×	×	○

○：出力あり　×：出力なし

5) 設定ファイル

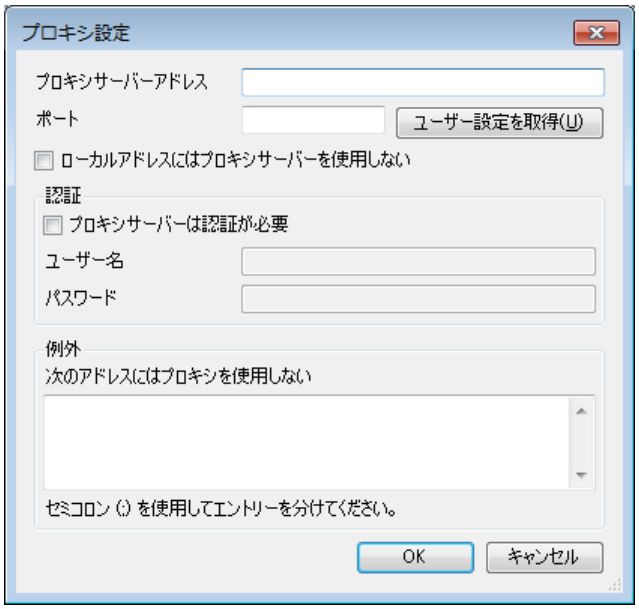
設定ファイルのフルパスを指定します。設定ファイルに記述された設定値は SmaPri Driver のサービス起動時にインポートされます。初期値は「C:¥ProgramData¥SATO¥SmaPri.ini」です。
詳細は、「設定ファイルのインポート」をご覧ください。

6) プロキシ設定

URL を指定するパラメータの利用時にプロキシサーバーを使用するかどうか指定します。初期値は「無効」です。有効時は下記パラメータで指定した URL にプロキシ設定が適用されます。

・「__format_archive_url」
・「__command_url」
・グラフィック変数に URL を指定した場合

下記画面でプロキシ設定を行います。
「ユーザー設定を取得」では、現在ログオンしているアカウントの設定（プロキシサーバーアドレスとポート）を取得できます。



7) 機能制限

管理画面の設定項目を制限します。詳細は「[管理画面]機能制限」をご参照ください。

4-5 [管理画面]機能制限

設定項目の操作を制限します。

- 起動方法

・「サーバー設定」タブを選択します。

※設定を変更するには管理者権限で起動する必要があります。



- 機能説明

設定変更した内容は「適用」または「OK」を押すことで反映されます。

ここで制限できるのは「SmaPri Driver 設定ツール」による設定変更です。リクエストによる設定変更は常に有効です。

1) プリンタ設定の変更を許可

標準ユーザーによるプリンタ設定の変更を許可します。初期値は「チェック ON＝許可」です。

2) プリンタの切り替えを許可

標準ユーザーによるプリンタの切り替えを許可します。初期値は「チェック ON＝許可」です。

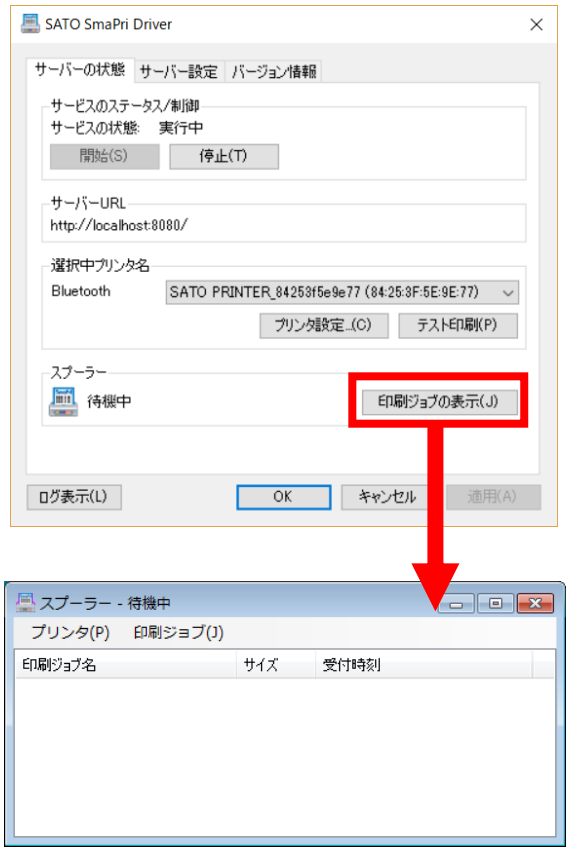
この設定を「チェック OFF」にしても「プリンタ設定の変更を許可」が「チェック ON＝許可」の場合は「[管理画面]プリンタ設定」からプリンタ設定の切り替えが可能です。

4-6 [管理画面]スプーラー表示

ジョブ名を設定・取得します。

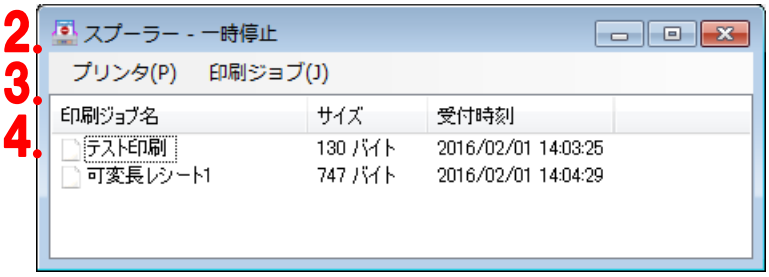
- 起動方法

・管理画面（メイン）で「印刷ジョブの表示」を選択します。



- 機能説明





1) スプーラー状態表示

スプーラーの状態をメッセージとアイコンで表示します。

スプーラーの状態は管理画面（メイン）にも表示されます。

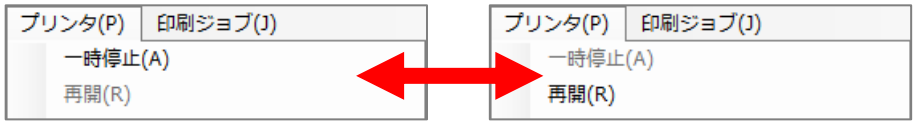
スプーラー状態	アイコン	説明
待機中		スプーラーにデータがない状態です。プリンタの状態に関わらず、スプーラーにデータがないときは常にこの状態となります。
印刷中		プリンタにデータを送信中、または、プリンタが印刷処理中の状態です。
オフライン		プリンタがオフラインの状態です。プリンタのステータス(エラーなし、バッファニアフル、バッテリーニアエンド)も表示されます。
一時停止		スプーラーが一時停止されている状態です。
接続エラー		スプーラーからプリンタに接続できない状態です。
プリンタエラー		プリンタがエラーとなっている状態です。エラー内容も表示されます。
停止中		SmaPri Driver が停止している状態です。SmaPri Driver を開始すると待機中に移行します。
無効		スプーラー機能が無効です。下記のケースが該当します。 ・プリンタ設定で「プリンタドライバー」を選択している。

2) メニューバー

・[プリンタ]-[一時停止]・[再開]

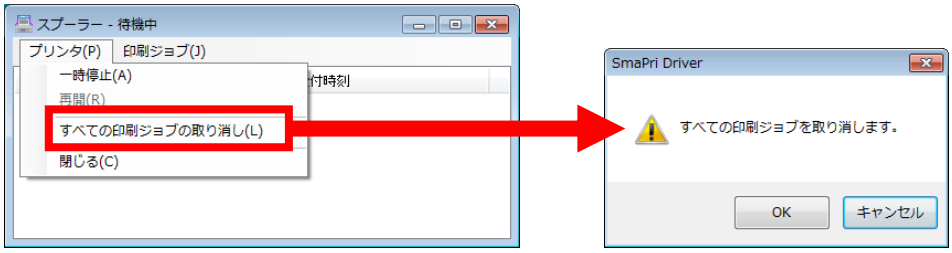
スプーラーの一時停止・再開を設定できます。

送信処理中に一時停止した場合は、印刷ジョブの送信完了後に一時停止します。



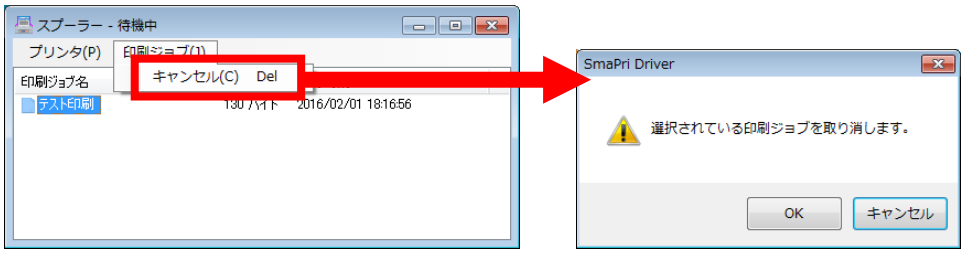
・[プリンタ]-[すべての印刷ジョブの取り消し]

スプールされている印刷ジョブをすべて削除します。



・**[印刷ジョブ]-[キャンセル]**

選択している印刷ジョブをキャンセルします。複数選択時は選択している印刷ジョブを全てキャンセルします。右クリックメニューからもキャンセルが可能です。



3) データー覧表示

スプールされている印刷データの「ジョブ名」「サイズ」「受付時刻」を表示します。

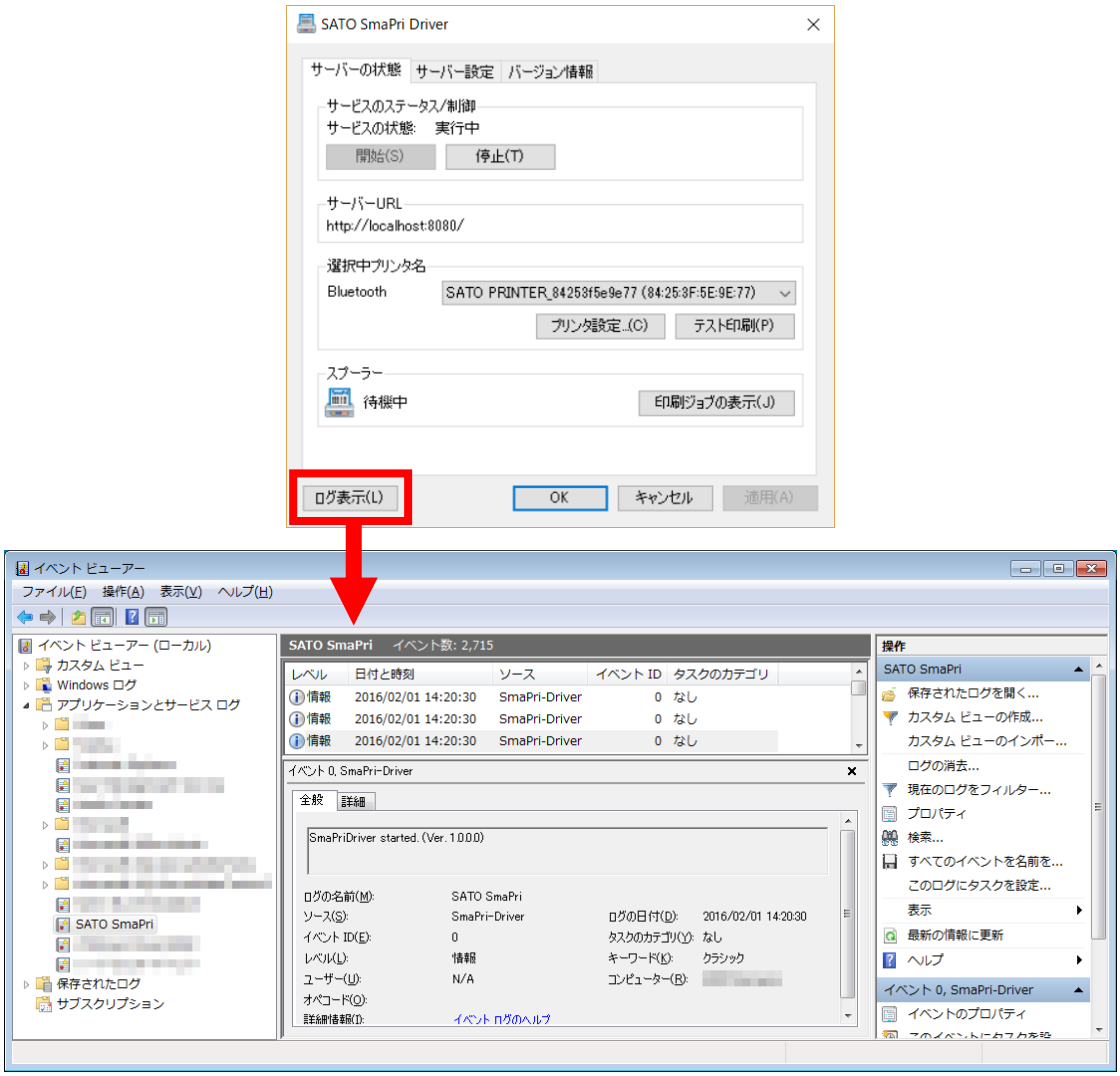
印刷ジョブは一覧の一番上から順に印刷され、新たな印刷ジョブは一番下に追加されます。

4-7 [管理画面]ログ表示

ログを表示します。

- 起動方法

・管理画面（メイン）から「ログ表示」を選択します。※管理者権限で起動する必要があります。



- 機能説明

ログー覧表示

イベントビューアーに出力された SmaPri Driver のイベントログを表示します。

【イベントログ出力先】 ログ名： SATO SmaPri

ソース名： SmaPri-Driver

※「アプリケーションとサービス ログ」の中に「SATO SmaPri」イベントログが作成されます

※「最大ログサイズ」の初期値は OS のデフォルトに従います(Windows11/10/8.1 では 1028KB)

保存

ログを保存する際は操作メニューの「すべてのイベントに名前をつけて保存」から任意のパスとファイル名を指定します。

4-8 設定ファイルのインポート

管理画面で設定できる項目をファイルからインポートします。

SmaPri Driver のサービス起動時に、サーバー設定画面の「設定ファイル」で指定したパスに設定ファイルが存在する場合、その設定値をインポートします。

設定ファイルのエンコードは ASCII、UTF-8、UTF-16 の利用が可能です。

また、設定ファイルインポート時には、イベントログに通知を出力します。

（出力例：Settings are importing from 'C:¥ProgramData¥SATO¥SmaPri.ini'...）

- 設定ファイルの形式

1) パラメータ

１行に 1 つのパラメータを次の形式で指定します。

パラメータ名=設定値

2) エンコーディング

ファイルのエンコーディングは、ASCII、UTF-8、UTF-16 を使用可能です。

UTF-8 と UTF-16 はファイル先頭の BOM(バイトオーダーマーク)により判別します。

3) 使用可能な特殊文字

文字種	説明
改行文字	CR、LF、CR+LF が使用可能です。
スペース（0x20）	パラメータ名と値それぞれの前後のスペース（0x20）は無視されます。
大文字･小文字	パラメータ名と列挙型の値については、大文字と小文字は区別されません。
ダブルクォート	値をダブルクォートで囲むことが可能です。値に含まれるダブルクォートは 2 つ並べてエスケープします。パラメータ名にはダブルクォートを含めることはできません。
コメント	「;(セミコロン)」から行末までがコメントとみなされ、無視されます。
空行	スペースや改行文字のみの行は無視されます。

- 設定パラメータ

設定ファイル内に記載がないパラメータ、存在しないパラメータ名、無効な設定値の場合は設定値を変更しません。設定内容に（*）が記されている項目は SmaPri Driver の初期値です。

パラメータ名	設定値	設定内容
サーバープロトコル		
server_protocol	http	HTTP (*)
	https	HTTPS
サーバーポート番号		
server_port	1～65535	初期値：8080
ログ出力レベル		
log_level	error	エラー
	warning	警告
	information	情報（*）
	off	OFF
インポート設定ファイル		
import_settings_file_location	設定ファイルパス 初期値：%ProgramData%¥SATO¥SmaPri.ini	
プリンタ機種		
printer_type	mobile	ステータス 3（PT208e/m/j, PT408e/PT412e）
	status3	ステータス 3
	status4_1port	ステータス 4（1 ポート接続）(*)
	standard	旧仕様互換用（ステータス 3）
プリンタインターフェースタイプ		
printer_interface_type	bluetooth	Bluetooth 接続を使用（*）
	lan	LAN 接続を使用
	usb	USB
	driver	プリンタドライバー
プリンタドライバー名		
Printer_driver_name	プリンタドライバー名を指定します。 例）”SATO PW208” ※未設定の場合はデフォルトプリンタを使用します	
Bluetooth アドレス		
bluetooth_device_address	BD アドレスを指定します。 例）00:01:90:E3:84:77	

Bluetooth デバイスフィルタ		
bluetooth_device_filter_enabled	false	無効（*）
	true	有効
Bluetooth デバイスフィルタ文字列		
bluetooth_device_filter_string	初期値： “SATO”	
LAN プリンタ IP アドレス		
lan_printer_ip_address	IP アドレスを指定します。 例）192.168.1.1	
LAN プリンタ TCP ポート		
lan_printer_tcp_port	1～65535（初期値：9100）	
USB シリアルナンバー		
usb_serial_number	USB シリアルナンバーを指定します。 例）” tmqe0027” ※未設定（空文字）の場合は接続されている１台の USB プリンタを自動判別します。未設定を利用する場合は２台以上の USB プリンタを同時接続しないでください。	
マルチアイテム送信		
multi_item_sending	false	シングルアイテム送信（*）
	true	マルチアイテム送信
伝送制御キャラクタ付加		
tc_character_enabled	false	付加しない
	true	付加する（*）
CRC 付加		
crc_enabled	false	付加しない（*）
	true	付加する
プリンタ応答タイムアウト		
receive_timeout	1～2147483647「ミリ秒」 初期値：20000「ミリ秒」	
プロキシ使用		
proxy_enabled	false	使用しない（*）
	true	使用する
プロキシサーバーアドレス		
proxy_address	IP アドレスを指定します。 例）192.168.1.1	
プロキシサーバーポート		
proxy_port	1～65535（初期値：なし）	

ローカルアドレスにプロキシを使用しない		
proxy_bypass_on_local	false	使用する（*）
	true	使用しない
プロキシ認証		
proxy_authentication	false	プロキシサーバーで認証を使用しない（*）
	true	プロキシサーバーで認証を使用する
プロキシ認証ユーザー名		
proxy_user_name	プロキシ認証のユーザー名を指定します（文字列）	
プロキシ認証パスワード		
proxy_password	プロキシ認証のパスワードを指定します（文字列）	
プロキシ例外アドレス		
proxy_bypass_list	プロキシを使用しないアドレスを指定します（文字列） 例）"192.168*;10.*;www.sato.co.jp;”	
設定値インポート後の設定ファイル削除		
delete_me	false	削除しない（*）
	true	削除する

- 設定ファイル記述例

```
printer_type = status4_1port                ;プリンタとの通信設定に「ステータス４」を指定
printer_interface_type = bluetooth          ;プリンタとの通信インタフェースに「Bluetooth」を指定
bluetooth_device_address = 00:01:90:E3:84:77 ;プリンタ固有のアドレス（BD アドレス）を指定
delete_me = true                            ;設定ファイルをインポート後に削除
```

4-9 HTTPS 通信の利用

HTTPS で SmaPri Driver を利用できます。

HTTPS サーバーで稼働する Web アプリから SmaPri Driver へリクエストを送信する場合に、SmaPri Driver も HTTPS に設定する作業は不要になりました。
Google Chrome バージョン 94 以降の仕様により、上位の Web アプリが SSL 化されていれば SmaPri Driver へのリクエストは「http://localhost:8080/～」のまま使用できます。

詳細は「4-10.Web アプリの SSL 化について」をご参照ください。

4-10 Web アプリの SSL 化について

Google Chrome バージョン 94 以降の仕様により、SmaPri Driver を Web アプリから利用する場合は Web アプリを SSL 化してください。

Web アプリの URL が http（http://example.com/～）になっている場合、SmaPri Driver へのリクエスト（http://localhost:8080/～）がブラウザによりブロックされ、送信エラーになります。詳細は以下の Chrome 開発者サイトを参照してください。
参考：https://developer.chrome.com/blog/private-network-access-update/

注意

・SmaPri Driver のサーバープロトコルを HTTPS に設定する必要はありません。

・イントラ環境の Web アプリの場合もブラウザの動作を確認してください。リクエストがブラウザによりブロックされる場合は Web アプリを SSL 化してください。

動作例

■Web アプリの URL が「**http**://license.sato.co.jp/～」の場合

SmaPri Driver（http://localhost:8080/～）へのリクエスト送信が失敗します。

例として JavaScript で XMLHttpRequest 利用時、HTTP ステータスコードが 0 で返送されます。ブラウザの開発者モードのログには以下のようなリクエストがブロックされた旨のエラーが記録されます。

【エラーログの例】

Access to XMLHttpRequest at 'http://localhost:8080/Format/Print…(省略)' from origin 'http://license.sato.co.jp' has been blocked by CORS policy: The request client is not a secure context and the resource is in more-private address space `local`.

■Web アプリの URL が「**https**://license.sato.co.jp/～」の場合

SmaPri Driver（http://localhost:8080/～）へのリクエストは正常に送信されます。